

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：3 単位
 対象学年組：第1学年 A組～ 組
 教科担当者：（A組：葉師咲子）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（『高等学校 新編現代の国語』（第一学習社））

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学 期	A単元 新しい出会い 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴をふまえ、表現上の工夫を理解する。常用漢字の基本的な読み書きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して、他者の価値観に触れ、自分の考えを深める。	・「未知はいくらでもある」（宮内悠介） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	○	5
	B単元 人間の風景 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して、他者の価値観に触れ、自分の考えを深める。	・「十六歳のとき」（星野道夫） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	○	8
	C単元 言葉が開く世界 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音声と意味との関係から、言語一般およびオノマトベの機能的特徴を理解し、音としての言葉への興味を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、日本語の特徴について分析し、言語に対する関心を高める。 定期考査	・「言葉の海のオノマトベ」（清水由美） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○	○	○	○	○	○	8
	D単元 言葉が開く世界 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能的理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、記号と言語の特徴について分析し、多様な表現に対する関心を高める。	・「言語としてのピクトグラム」（本田弘之） ・教科書、授業プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	○	9
	E単元 話して伝える 【知識及び技能】 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って調べたり話合ったりする力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って調べたり、説明や発表したりする姿勢を育む。 定期考査	・「話し方の工夫」 ・教科書、授業プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	○	8
						○	○		1

2 学 期	F単元 新しい出会い 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。評論文のテクニク(具体例)を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が「ナマケモノ」から学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、主題に対して自分の考えをもちとする姿勢を育む。	・「ナマケモノになる」(辻信一) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。評論文のテクニク(具体例の効果)について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が「ナマケモノ」から学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解をふまえて、主題に対して自分の意見を考えたり表現しようとしている。	○ ○ ○ ○	8
	G単元 人間の風景 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身の生き方について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して、他者の価値観に触れ、自分の考えを深める。	・「臆病な詩人、街へ出る」(文月悠光) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身の生き方について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解を通して、他者の価値観を理解し、自分の考えを深めようとしている。	○ ○ ○ ○	8
	定期考査					1
	H単元 社会と人間 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、主題に対して自分の考えをもちとする姿勢を育む。	・「『弱いロボット』の誕生」 ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解をふまえて、主題に対して自分の考えを示す力をつけるようとしている。	○ ○ ○ ○	9
	I単元 社会と人間 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 本文で使われている「バス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の価値観に触れ、仕事や生き方についての自己の考えを深める。	・「人はなぜ仕事をするのか」(内田樹) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文で使われている「バス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の価値観に触れ、仕事や生き方についての自己の考えを深めようとしている。	○ ○ ○ ○	9
J単元 話して伝える 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで材料を集めたり興味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。	・「スピーチで自分を伝える」 ・教科書、授業プリント ・一人一台端末の活用	○ ○	【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで材料を集めたり興味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。	○ ○ ○ ○	6	
定期考査					1	
3 学 期	J単元 現代と社会 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、主題に対して自分の考えをもちとする姿勢を育む。	・「イースター島になぜ森がないのか」(鷲谷いづみ) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解をふまえて、主題に対して自分の考えをもちとしている。	○ ○ ○ ○	8
	J単元 現代と社会 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 材料科学の革新が人類の進歩に大きく貢献したことを理解し、本文に示された未来像について関心を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、主題に対して自分の考えをもちとする姿勢を育む。	・「『材料科学』のゆえ」(佐藤健太郎) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 材料科学の革新が人類の進歩に大きく貢献したことを理解し、本文に示された未来像について関心を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解をふまえて、主題に対して自分の考えをもちとしている。	○ ○ ○ ○	8
	K単元 生活の中の表現 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする姿勢を育成する。	・「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 ・教科書、授業プリント ・一人一台端末の活用	○ ○	【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。	○ ○ ○ ○	6
定期考査					1	
合計						105

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～組

教科担当者：（A組：尾高、都竹（組：）（組：）（組：）（組：）（組：））

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能および健康・安全について理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かにし継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】手軽な運動を行い、心と身体は互いに影響し変化することを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かにし継続するための課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】互いに助け合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた動きを大切にすることができる。	○体づくり運動 ・体幹トレーニング ・ヨガ ・筋力トレーニング	【知識・技能】自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための運動の行い方について言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B 卓球 【知識及び技能】ラリーの中で状況に応じて打ち返す位置を変化させたり、相手の打った球に応じて適切に打ち返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】相手を思いやり、相手のペースに合わせた球を返すことができる。	○卓球 ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】球を相手側のコートの守備のいない空間に強弱や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、改善するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、相手を思いやる行動をしている。	○	○	○	5
	C バドミントン 【知識及び技能】状況に応じたラケット操作によって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする。	○バドミントン ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】シャトルを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】仲間や自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	6
	D 体育理論 【知識及び技能】スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通してスポーツを継続するとともに明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○体育理論 ・文化としてのスポーツ ・スポーツにおける技能と体力	【知識・技能】生涯を通じたスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】運動の主体的、合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	○			2

2 学 期	E バレーボール 【知識及び技能】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】チームや自己の課題を発見し、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや互いに助け合い高め合おうとすることができるようにする。	○バレーボール ・バスの種類について ・サーブについて ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】仲間と運動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】作戦などを話し合う場面、合意形成に貢献しようとしている。	○	○	○	6
	F バスケットボール 【知識及び技能】チームや自己の課題を解決したり勝敗を競ったりするなど仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】バスやシュートの種類について理解を深め、その場に適した状況判断をしている。 【学びに向かう力、人間性等】仲間の良さを認め、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○バスケットボール ・バス、シュートの種類について ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】味方が取りやすいパスを出したり、空間に走りこんだりして得点につながる動きをしている。 【思考・判断・表現】適切な状況判断をするために、仲間の動きや相手の動きをよく見て考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】チームに貢献し、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	7
	G アルティメット 【知識及び技能】ディスクの扱いに慣れ、自分の投げたいところに投げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】バスの名称を覚えるとともに、ルールや名称について言ったり書きだしたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】互いに助言し合うなど、相手を思いやる行動をしている。	○アルティメット ・ディスクの持ち方について ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】状況に応じてパスを使い分け、空間に走りこむなどして得点につながる動きをしている。 【思考・判断・表現】ルールを正しく理解したうえで状況判断をしながらプレーしている。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間と助言するなど協力的に行動し、フェアなプレイを大切にしている。	○	○	○	7
3 学 期	H 持久走 【知識及び技能】自己に適したペースを維持して後半まで走り続けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】呼吸を楽にしたり、走りのリズムをつくったりする呼吸法を言ったり書きだしたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】仲間に声をかけ、鼓舞することができる。	○持久走 ・15分間走 ・タイムトライアル	【知識・技能】自己に適したペースを見つけたとともに、走り方を工夫し最後まで継続することができる。 【思考・判断・表現】走り方や呼吸の仕方について理解を深め、言ったり書きだしたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間と励まし合いながら授業に取り組むことができる。	○	○	○	7
	I サッカー 【知識及び技能】ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、相手に適切なパスを出すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度、性別などの違いに配慮して活動している。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人に応じた課題を理解し、協力的に取り組んでいる。	○サッカー ・基本動作について ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】味方が操作しやすいパスを出したり、ゴールの枠内にシュートしたりすることができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別などの違いに配慮して、仲間と楽しむ方法を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】一人一人に応じた課題を理解し、協力的に取り組んでいる。	○	○	○	6
合計							50

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ 組
 教科担当者： (A組：箕輪 潤) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： ()

教科 外国語 の目標：
【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
Get Ready!-1～4 ●中学までに学習した「アルファベット」「単語の書き方」「辞書の引き方」「教室での英語の使用」について、イラストなどを参考にして、理解することができる。また、言語活動へつなげることができる。	Get Ready!-1～4									2
LESSON 1: Colors of Spring ●春について、理解して考えを深めることができる。 ●色/春についてやりとりができる。	LESSON 1: Colors of Spring									7
	定期考査									1
LESSON 2: Dick Bruna ●ディック・ブルーナさんについて、理解して考えを深めることができる。 ●キャラクター/本についてやりとりができる。	LESSON 2: Dick Bruna									11
	定期考査									1

1 学期

令和5年度「総合的な探究の時間」の全体計画

1 「総合的な探究の時間」の校内での名称（実施学年ごとに記入する）

第1学年『人間と社会』 第2学年『総合（探究）』
第3学年『総合（探究）』 第4学年『人間と社会』

2 学校の教育目標

- ① 学問を愛し、真理を探究する精神を養い、生涯を通し知性の向上に努めさせる。
- ② 情操を養い、明朗で清純な品性と礼節ある態度を培う。
- ③ 正義と平和を愛し、心身ともに健全で実行力のある人間を育成する。
- ④ 個性を伸長し、自主的精神を培うとともに、自己の社会性を自覚させる。

3 各学校において定める「総合的な探究の時間」の目標

- ① 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通してよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。
- ② 学び方や考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に創造的に取り組む態度を育て、己の在り方・生き方を考える。

4 生徒・学校・地域の実態

- ① 本校在校生は、義務教育期の不登校経験者が多い。だからこそ学び方やものの考え方を身に付け、主体的創造的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力を育みたいと願っている。
- ② 地域・保護者は、本校を丁寧な生活指導を実施する学校と認知し、入学後は心身ともに健康で望ましい生活習慣を育成して欲しいと願っている。

5 指導体制（実施学年ごとに記入する）

- ① 週時程への位置付け方（曜日・校時）及び授業時間数、単位数

1 学年	木曜日・3校時	1 単位時間45分とし、35単位時間
2 学年	木曜日・3校時	1 単位時間45分とし、35単位時間
3 学年	木曜日・3校時	1 単位時間45分とし、35単位時間
4 学年	木曜日・3校時	1 単位時間45分とし、35単位時間
- ② 授業時間確保の方法 特定の期間に集中して実施しない。
- ③ 校内の指導組織
 - 1 学年2人、2 学年1人、3 学年2人、4 学年1人、計6人の専任教員で担当する。
- ④ 学習の評価
 - 1 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 2 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 3 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 4 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
- ⑤ 評価方法
 - 1 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 2 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 3 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 4 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。

6 育てようとする資質や能力及び態度

- ① 基礎基本を重視し、学び方やものの考え方を習得することを通して社会の状況に応じてその力を活用する。
- ② 横断的探究的学習を通して、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。
- ③ 自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

7 内容（学習対象、学習事項）（実施学年ごとに記入する）

- ① 『人間と社会』第1学年
○自ら課題を設定し、それに対し調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ② 『総合（探究）』第2学年
○1学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ③ 『総合（探究）』第3学年
○2学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ④ 『人間と社会』第4学年
人間と社会の学習の意義・ねらいや年間学習計画の確認をする。都立城北中央公園を中心にした「奉仕体験活動」、ネット時代・働くことの意義など本校の生徒に密着したテーマを取り上げ人間と社会について理解を深化させる。
① 学習事項
○興味関心を見出し、進路に応じた課題に取り組み、自ら学び考える資質や能力を育む。

8 学習活動

- ① 第1学年『人間と社会』
自ら課題を設定し、それについて調査・研究を行っていく。また学校近隣の地域と連携した「奉仕体験活動」を実施し人間と社会について理解を深化させる。
- ② 第2、3学年『総合（探究）』
生徒自身が課題を設定し、それについて調査・研究を行っていく。また進路について考えることや、職業について考えるために横断的・総合的な講座に取り組み、自己の在り方・生き方を探究する。
- ③ 第4学年 『人間と社会』
人間と社会の学習の意義・ねらいや年間学習計画の確認をする。都立城北中央公園を中心にした「奉仕体験活動」、ネット時代・働くことの意義など本校の生徒に密着したテーマを取り上げ人間と社会について理解を深化させる。

9 指導方法

協働的な学習の充実を図り、個に応じた指導ができるように少人数構成にしている。

10 各教科等との関連

- ① 各科目・教科との連携を図るために教務部担当者及び副校長を中心に進度・学習内容の連絡会を継続的に実施する。
- ② 定期的に検証を加え授業力向上の校内研修を実施する。

11 外部との連携

- ① 本校ホームページ、Twitter等を活用して地域・保護者に広報し、年間2回の授業参観及び研究協議会を実施する。
- ② 城北中央公園管理センターとの連携を図る。

令和5年度「総合的な探究の時間」の年間授業計画

(1学年)

1 単位時間の時間 (45) 分 『人間と社会』

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	事前指導	講座内容・評価方法の説明	出席、意欲などを総合的に評価	2
		課題設定	自己の課題を考え、取り組む課題を設定させる。		(3)
	5	環境保全に関する知識を広げよう	学習活動の企画と諸注意をしたうえで、奉仕活動である地域清掃を行う。地域清掃は、城北中央公園管理センターと協議・協力して実施。社会貢献について考える。		
	6		・奉仕体験活動 <学校周辺区域の清掃活動> 本校周辺及び都立城北中央公園(花の広場、リンゴ広場、クローバー広場)を中心とした清掃活動を行う。		
	7			(3)	
2	9	地域社会とのつながりについて探求しよう	第14章 自然と人間との関り ・学校の活動の中で、自然保護や環境保護につながっていることを考える。また考えた活動を実践する。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	3
	10		第16章 文化の多様性 ・身近な地域には様々な文化をもつ外国人が東京に集まっていることについて学ぶ。また異なる文化をもつ人々と生きていくためには、どのようなことが大切であるかを考える。		3
	11		・奉仕体験活動 <学校周辺区域の清掃活動> 本校周辺及び都立城北中央公園(花の広場、リンゴ広場、クローバー広場)を中心とした清掃活動を行う。		2
	12				(6)
3	1	地域社会にどのように貢献できるか考えよう	環境保全や地域社会について探究したことをふまえて、研究論文の作成及び発表を行う。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	4
	2	研究発表	振り返りを行い、自己の取り組みの確認を行う。		4
	3	振り返り	一年間の取り組みをまとめ、次の課題を設定する。		2
配当時間数の合計					35